

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・構成	単位数	3
		学科・学年・学級	普通科(創造表現コース) 2年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い創造活動を通して創ることのよろこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。</li> <li>鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。</li> <li>感性を高めて美しさを探求する態度を養い、美術を愛好する心情を育てる。</li> </ul>
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生の美術1(日本文教出版)</li> <li>新美術表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社)</li> <li>実技用具など</li> </ul>

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	授業態度、制作に対する意欲や姿勢	10%
b. 発想や構想の能力	多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	50%
c. 創造的な表現の技能	意図に応じて材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	美術の働きや美術作品の美しさ、特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうなどすることができる。	鑑賞態度など	10%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4~5	20	彫塑実習(手の模刻)	水粘土を用いた手部制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>素材の理解を深める</li> <li>手部の骨格・構造を学ぶ</li> <li>立体表現の研究</li> </ul>	○		○	○
	6~7	25	静物水彩	水彩の表現について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>水彩絵の具の特性を学ぶ</li> <li>水彩に多様な表現について学ぶ</li> <li>静物を観察し、立体感・質感の表現を学ぶ</li> </ul>	○	○		○
	8~11	30	テーマに沿ったデザインの構想・発表	デザインを構想する手順や発表について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインにおける造形の諸要素を学ぶ</li> <li>テーマを理解し、多様な視点から構想を練る</li> <li>プレゼンテーションボードの制作</li> </ul>	○	○	○	○
後期	12	15	テーマ制作(構想)	これまでの授業で実践した技法・描画材を応用したテーマ制作の構想を練る <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに応じた表現材料の研究と工夫</li> <li>構想案を練り、下絵の用紙にまとめる</li> </ul>	○	○		
	1~3	15	美術史	日本美術史の大まかな流れについて理解する <ul style="list-style-type: none"> <li>古代~近代までの美術の歴史を学ぶ</li> </ul>	○			○